

CentreCOM® 8216XL2 リリースノート

この度は、CentreCOM 8216XL2 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 4.1.0J

2 本バージョンで追加された項目

ソフトウェアバージョン 2.3.1J から 4.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。各機能の詳しい説明につきましては、「6 マニュアルの構成について」にあります、本製品の最新マニュアル「AT-S37 オペレーションマニュアル」をご参照ください。

- 2.1 コマンドラインインターフェース対応
- 2.2 Telnet 接続による、複数ユーザーの同時ログイン(最大4セッションまで)対応
- 2.3 本体宛 IP フィルター機能
- 2.4 設定ファイルのテキスト保存
- 2.5 FTP サーバー機能
- 2.6 ログインユーザーの認証および設定
- 2.7 syslog サーバーへのログ出力
- 2.8 FTP/TFTP サーバーの有効 / 無効設定
- 2.9 イングレスフィルターの有効 / 無効設定
- 2.10 SNMP マネージャーからのリクエストの有効 / 無効設定

3 本バージョンで変更された項目

ソフトウェアバージョン 2.3.1J から 4.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が変更されました。


- 3.1 新しい MAC アドレスの学習時に発行する、New Address トラップ対応
- 3.2 ポートセキュリティー機能に、Dynamic LimitedモードとスタティックMACアドレスの自動登録追加

- 3.3 ログ機能で、ログの再表示が可能
- 3.4 Telnet サーバーのリスニング TCP ポート番号の変更が可能
- 3.5 IGMP スヌーピング v2 対応
- 3.6 Fanトラップ(ファンの異常検出時に発行)と、Over-Temperatureトラップ(システム内の温度異常検出時に発行)を、システムの起動後2回目以降の異常発生時(一度通常状態に復旧した後、再度異常が発生した場合)にも送信
- 3.7 (セレクトابل・ポート版)マルチプルVLANモードで、UVのVLAN数を1個から3個に変更
- 3.8 (セレクトابل・ポート版)マルチプルVLANとスパニングツリー機能の併用が可能
- 3.9 SNMPトラップのUDP Source Portを、0から162に変更

4 本バージョンで削除された項目

ソフトウェアバージョン2.3.1Jから4.1.0Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されました。

- 4.1 Xmodemによるソフトウェアのダウンロードのメニューオプション
- 4.2 プリセット・ポート版マルチプルVLANモード

 **プリセット・ポート版からセレクトابل・ポート版への移行:**
 セレクトابل・ポート版マルチプルVLANモード(Selectable Ports Edition)の機能拡張により、プリセット・ポート版マルチプルVLANモード(Preset Ports Edition)は削除されました。プリセット・ポート版マルチプルVLAN設定時に、バージョン4.1.0Jへバージョンアップを行った場合は、セレクトابل・ポート版マルチプルVLANで同様の動作を行うように自動的に設定が更新されます。自動更新後の設定内容はゲートウェイMACアドレス(Gateway MAC address for Multiple VLAN)の設定の有無によって以下のように異なります。

	Gateway MAC address設定時	Gateway MAC address未設定時
アップリンクVLAN (UV)	最終2ポートをUV1に設定	最終ポートのみをUV1に設定
クライアントVLAN (CV)	最終2ポートを除く全ポートをCV1から順に各CVに1ポートずつ設定	最終ポートを除く全ポートをCV1から順に各CVに1ポートずつ設定

- 4.3 マルチキャストアドレスの追加/削除のメニューオプション

5 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.3.1J から 4.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 5.1 [Administration] メニューの [Diagnostics] オプションで表示されるセルフテスト項目 (Flash PROM/RAM/Serial Interface 以外) について、正しい値が表示されない、誤ってトラップが発行されるなどの場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 5.2 デフォルトゲートウェイアドレスが Null (工場出荷時設定) の状態で、異なるサブネット宛にパケットを送信した場合、0.0.0.0 で ARP Request が送出されていましたが、デフォルトゲートウェイアドレスが Null のときには、ARP Request が送出されないように修正しました。
- 5.3 トランクグループのポートを以下の例のように再設定した場合、変更前と変更後の最小番号ポートにマルチキャスト/ブロードキャスト/送信元 MAC アドレス未学習のユニキャストパケットがフラッディングされていましたが、これを修正しました。
例: トランクグループのポートを 3~4 → 1~4 に変更した場合 (3 → 1 のようにグループの最小番号ポートをより小さい数に変更した場合)、ポート 3 とポート 1 (変更前と変更後の最小番号ポート) にフラッディングされる。
- 5.4 RRP スヌーピングの設定を「Null (not configured)」に戻したとき、ログに「RRP - Ports ""」のメッセージが二重に表示されていましたが、これを修正しました。
- 5.5 本製品に Telnet 接続し、メニューから他の機器に MAC アドレスによる指定で Ping を実行した場合、RRP を発行せず Ping がタイムアウトになることがありましたが、これを修正しました。
- 5.6 本製品と同一の IP アドレスを持つコンピューターを接続してしまった場合、コンピューターの IP アドレスを正しい値に変更するなどしても、本製品を再起動しない限り、本製品宛通信、および本製品からコンピューター宛の通信ができませんでしたが、これを修正しました。
- 5.7 SNMP で ifDescr を参照する際に、ifEntry.1 ~ ifEntry.24、または ifEntry.1 と ifEntry.2 のように複数同時に取得しようとする、本製品が誤った値を返す場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 5.8 SNMP RMON 総受信パケット数に Undersize、Oversize、Fragment パケット数が含まれるように修正しました。
- 5.9 マネージメントポートと同一の VLAN に属しているポートがすべてリンクダウンしている状態で、本製品からの送信 (Ping、Trap) が発生すると、本製品宛の通信が不可になっていましたが、これを修正しました。
- 5.10 IGMP パケットをフラッディングする時に、パケットサイズを誤って 4 バイト加算していましたが (CRC 分 2 重付加)、これを修正しました。

- 5.11 トランクグループに属するポートの設定を変更したときに、グループ内のすべてのポートに設定が反映されませんでした。これを修正しました。
- 5.12 プライベート MIB による設定について、次の項目を修正しました。
- ・FSTSWITCH-MIB fstswitchVlanconfig
ChangeVlanmode でモード変更を行った場合、初期値に戻せないことがありましたが、これを修正しました。
 - ・FSTSWITCH-MIB fstswitchBrTpEn
MAC address Aging Time に、設定範囲の仕様を越える 1000 分以上の値を設定可能でしたが、0～999 の範囲内のみ設定できるように修正しました。
 - ・Get Port from MAC address 実行時の表示の誤り
Static MAC Address を [Get Port from MAC address] で検索した際に正しいポート番号と間違ったポート番号の 2 種類が表示されましたが、これを修正しました。

6 マニュアルの構成について

ソフトウェアバージョン 4.1.0J で、本製品のマニュアルは、「取扱説明書」と「オペレーションマニュアル」の 2 部構成に改版されました。

「取扱説明書」は、本製品の概要、設置と接続、本製品に設定を行うための手順と基本的な動作など、本製品を使い始めるにあたっての最低限の情報が記載されています。

「オペレーションマニュアル」は、各機能の解説、メニューとコマンドの使用方法など、本製品の設定項目に関するすべての情報が記載されています。

これらのマニュアルは、弊社ホームページに掲載されていますので、同梱のマニュアルが「取扱説明書」または「オペレーションマニュアル」でない場合は、そちらをご覧ください。

「取扱説明書」、「AT-S37 オペレーションマニュアル」へのリンクはこちら：

<http://www.allied-teselis.co.jp/support/8216xl2/manual.html>

7 オペレーションマニュアルの補足

「AT-S37 オペレーションマニュアル(J613-M2839-05 Rev.A)」の補足事項です。

7.1 マルチプル VLAN モードとポートセキュリティの併用について



「AT-S37 オペレーションマニュアル」 2-151 ページ

マルチプル VLAN モードとポートセキュリティを併用した場合、1 つの Uplink VLAN Group (UV と CV のグループ) 内に同一の MAC アドレスを複数登録することはできません。